



特別養護老人ホームみちのく荘 まるめろ通信

[まるめろ通信 / 第91号]

発行日 / 2012年 11月 25日
発行 / 青森社会福祉振興団
みちのく荘 0175 (23) 1600
みちのく金谷デイ 0175 (23) 0771
城ヶ沢みちのく荘 0175 (24) 3163
脇野沢いこいの里 0175 (31) 5611
Eメール / marumelo@michinokuso.or.jp



夫の善藏さんに出会った頃と変わらない温かい笑顔。自宅には川村さんの作品が並びます。

喜びも悲しみもこの家とともにあった。
穏やかに今の生活を続けたい。

川村 あやさん 大正9年生まれ 92歳 / むつ市田名部町出身

私の小径こみち

川村さんは平成21年3月、自宅で歩行困難になり救急搬送されました。脳梗塞との診断を受け、リハビリを続けるために転院もしましたが、発熱を繰り返すなど苦しい入院生活を体験しました。

「お父さん(夫・善藏さん)と2人だけでは生活できない…」

川崎市から駆けつけていた二男夫婦や夫と相談を重ね、自宅に帰るために住宅改修や介護サービスの利用を決意しました。

同年5月に退院してから3年半、在宅生活が長くなるほど、ヘルパー

やデイサービス、訪問看護、ショート

ステイなどといった在宅サービスを

継続的に利用することによるリハビ

リ効果と、家族の力の大きさを実感

しています。

自宅復帰を強く勧め、いつも励まし

てくれた夫は、川村さんが退院して

きた年の11月に持病が悪化し、川村

さんや家族が見守る中、「この家で穏

やかな最期を迎えること

川村さんは朝起きると必ず、ヘルパー

と一緒に仏壇の写真に声を掛けます。

「お父さん、おはよう。」

大きな窓から見える庭は昔のまま

で、夫と一緒に少しずつ採取した山野

草や木々が、その日の天気や季節ごと

に移ろいを見せ、さまざまな懐かしい

喜びも悲しみもこの家とともにあった。
穏やかに今の生活を続けたい。

川村 あやさん 大正9年生まれ 92歳 / むつ市田名部町出身

思い出を蘇らせてくれます。
大湊にあった「日本特殊鋼管(鉄の精錬所)」に勤めていた頃、女学校時代の恩師の弟だった夫と出会い、誠心誠意接してくれたところに惹かれて結婚しました。

小学校教員で転勤の多かった夫と一緒に

緒に、大平、大利、脇野沢、下田屋、大間などさまざまな土地で生活しました。

当時は先生といえども薄給だったため、家事や育児のかたわら和裁や山菜採りなどで家計を支えました。

物心つく前に父を亡くし、少女時代は母と兄の3人で親戚を頼り、住まいを転々としました。旅館の小さな電気もない布団部屋で寝起きしたこともありました。

少しづつ貯蓄し、夫の退職後やつと構えた我が家への思いは、形が変わった今でも格別なものです。

川村さんを毎日変顔で笑わす、といいう一男の隆さん、その妻由紀子さんとの3人暮らし。

思ったことを半分心にしまって、いつも静かに家族を見守っていました。柔かな笑みは「なでしこの花のように、一緒にいる人たちの気を鎮めてくれます。

住み慣れたこの場所で穏やかに過ぎていく毎日が、川村さんにとってこの上ない幸せな時間です。

① サン イチオシ！
シリーズ⑫

青森社会福祉振興団

あなたの町を駆け抜ける

法人にはさまざまな車があります。
デイサービスセンターの送迎車
訪問介護・訪問看護サービスの訪問車
訪問入浴サービスの入浴車
ケアマネジャーの業務車

など、どれも事業所名と使命を背負つて私たちのサービスを地域に届けるための大切な仲間です。

最も古い車は入浴車のコスモス号。
脇野沢地区を中心にお風呂の出前をしています。

平成4年に稼働開始、今年で20年。
長年生きた証としてしわが刻まれるよう

に、駆け抜けた証として鏽が刻まれる。
どこかさびを感じる入浴車、今日もあなたを心から温めます。



私たちが提供しているサービスには、「え? こんなことができるの?」と思うようなことがたくさんあります。「イチオシ! シリーズ」でさまざまなサービスを紹介します。

祝!
100歳おめでとうございます!!

平成24年9月25日、特別養護老人ホームみちのく荘にて、表彰式を行いました。2人には国と県から表彰状が贈られ、表彰式後には家族と一緒に記念撮影を行いました。

現在、法人の施設入居者のうち100歳を超える利用者は全部で7人となりました。



写真左／尾本富喜さん
写真右／尾本富喜さん

快適な環境づくりのお手伝い

○介護用品のレンタル・販売
(車いす・ベッド・リハビリ機器他)

○住宅改修

株式会社 シルバーサービス

〒035-0033 むつ市横町2-9-13
TEL 0175-22-9511

有限会社 東北環境サービス
TEL 0175-22-3927

住まいのお掃除屋さん

海・山なくして、下北半島は語れない。
総合食品卸問屋

DAIICHI 株式会社

青森県むつ市大曲二丁目14番33号
TEL 0175-22-5525
FAX 0175-22-7172

ドウイさんは平成21年、介護福祉士候補生の第一期生として、みちのく荘にやつてきました。毎日仕事と介護福祉士の試験勉強に励み、平成24年1月に行われた国家試験に合格、介護福祉士を取得しました。

現在は、他の介護福祉士候補生5名のために、自分の経験を生かし、仲間の成長を手助けしています。「国家試験に向けて勉強している仲間が、「一日でもテキストを見ないと焦る」と話すその気持ちがよく分かる」と真剣に話していました。

「まるめろ通信」のご感想をお寄せください。連絡先: 0175(23)1600

● ドウイさんの自筆です。

しもきた彩 彩

四季の彩りの中に隠れている小さな生命、それぞれの個性。
違うや名前を知るだけで、なぜか新しい友人を見つける気持ちになります。

小鴨 真鴨

(ガンカモ科 / L 41 cm)

(ガンカモ科 / L 61 cm)

イラスト原団／『山溪カラー図鑑 日本の野鳥』『山溪ハンディ図鑑?日本
の野鳥』(山溪出版社) 「青森の野鳥」(株東奥日報)



コガモ



マガモ

新規施設建設工事進行中!!

来年度オープンに向けた新しい施設の建設工事が十二林、金谷にて開始しました。今後、工事の進捗状況や施設のサービス概要などまるめる通信やホームページにて随時紹介していきます。

建設工事中、地域住民のみなさまには多大なるご不便をご迷惑をおかけしております。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申上げます。

また、金谷地区の施設名が「特別養護老人ホーム金谷みちのく荘」に決定しました。特

別養護老人ホーム金谷みちのく荘(定員29名)には、ショートステイユニット「みちのく金谷ショートステイ」(短期入所型施設、定員11名)が併設されます。



十二林地区の工事風景。11月に工事開始、側溝工事に取りかかっています。



金谷地区11月上旬の工事風景。建築の基礎となるコンクリートを枠内に流し込む打設工事をしています。

やさしい街づくりを応援しています。

大切な人と過ごすクリスマス。

下北文化会館企画事業
海上自衛隊大湊音楽隊による
クリスマスコンサート
2012年12月21日(金)
17:30開場/18:30開演
下北文化会館 大ホール [入場無料・要応募]
下北文化会館 指定管理者 株式会社 東京堂
〒035-0072 むつ市金谷一丁目 10-1
tel 22-8411 fax 22-8414 http://shimobun.com

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売

有限会社
ニッショク

青森県むつ市大曲二丁目 13-35
電話 (0175) 22-7222
FAX (0175) 22-7081

新たなエコカーの本命。
新型ノート誕生。

Nissan Note

今までなかったワクワクを。

株式会社 むつ日産

むつ市大字田字赤川ノ内並木110-4 TEL 0175-22-2284



出身地 インドネシア共和国
趣味 音楽鑑賞、体を動かすこと

ドウイの日記

科学的介護のススメ その3

みちのく荘では、科学的介護の実践に取り組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

高齢者の方々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)人生の質)を高めることができ私たちの大切な役割であると考えています。

組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

高齢者の方々のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)人生の質)を高めることができます。

組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

組んでいます。科学的介護とは、「水・食事・排便・運動」といった基本ケアを、科学的根拠に基づき適切に行うことで、利用者の身体・精神両面を高める介護技術です。

冬に渡ってくる淡水ガモ。カモ類のオスは特徴的な羽色を持つものが多い。コガモは緑色のアイマスクをしているし、マガモは嘴を除くと首から上が銀色。ただし、どちらも光線の加減で色が変化し、濃い紫にも見える。

中国でマガモを家禽としたのがヒル。マガモに似た羽色のものを一般にオオピアヒルと呼び、これをさらにもガモと交配を重ねたものをアイガモ(合鴨)という。県内の方言名でマガモがオオクビと呼ばれることが多いのです。

冬に渡ってくる淡水ガモ。カモ類のオスは特徴的な羽色を持つものが多い。コガモは緑色のアイマスクをしているし、マガモは嘴を除くと首から上が銀色。ただし、どちらも光線の加減で色が変化し、濃い紫にも見える。

中国でマガモを家禽としたのがヒル。マガモに似た羽色のものを一般にオオピアヒルと呼び、これをさらにもガモと交配を重ねたものをアイガモ(合鴨)とい

う。県内の方言名でマガモがオオクビと呼ばれることが多いのです。

冬に渡ってくる淡水ガモ。カモ類のオスは特徴的な羽色を持つものが多い。コガモは緑色のアイマスクをしているし、マガモは嘴を除くと首から上が銀色。ただし、どちらも光線の加減で色が変化し、濃い紫にも見える。

中国でマガモを家禽としたのがヒル。マガモに似た羽色のものを一般にオオピアヒルと呼び、これをさらにもガモと交配を重ねたものをアイガモ(合鴨)とい